

第9号に引き続き、今回も進路学習会のお話しです。今回は那覇国際高校と小禄高校です。

那覇国際高校 普通科 3年 具志有季乃さん 2年 平良樹和さん

ぐし ゆきの

たいら きわ



那覇国際高校の平良樹和です。那覇国際高校に志望した理由は、たくさんの高校がある中で勉強や部活、大学のことも考えて1番バランスがとれている高校だと思い選びました。私は推薦で入学しましたが、その時の内申が3年間合わせて「4.9」。実績は合唱部で獲った「九州金賞・銅賞」の2つで出しました。あとは中学校の各学年で級長と副級長を経験しました。那覇国際は7時半から早朝講座があって、自宅近くからだと40分くらいかかるので、6時に起きて6時半に家を出て6時40分くらいモノレールに乗って登校します。早朝講座は、1年生は国語・数学・英語が組み込まれていて普通の授業と変わりません。授業は60分授業が多いです。放課後の部活が他の学校より短くて、夏は7時半・冬は7時下校と決まっています。それから家に帰ると8時過ぎます。帰ってから宿題・課題・テスト勉強をやるので、1年生の時は本当に大変でした。

自分が伝えたいことは、高校で何をしたいのかは自分の意志で決めてほしいということです。私は周りのみんなのように勉強がしたいから那覇国際に行ったわけではなく、自分のやりたいことをいっぱいできると思ったから那覇国際を選びました。だから自分の決めた選択に後悔はないのですが、遊びたい人は那覇国際には来ない方が良いです。那覇国際は志の高い人が多いので良い刺激になるし、もっと頑張れると思わせてくれる学校です。今から高校選びの中で、勉強や部活・楽しいことをたくさんして決めてほしいと思います。

那覇国際高校3年の具志有季乃です。自分もみなさんと同じ立場で、今度は大学入試という大きな山を上っています。なので、今みなさんの気持ちが分かります。私の周りにも「今どこにきたいのかわからない」と悩んで勉強の手前で止まっている人もいます。高校入試で考えてほしいのは、自分の将来の夢があるかだと思います。もしプロ野球選手やスポーツがしたいなら、那覇国際じゃないところに行った方が良いです。もし決まっていなかったら大学も行きたいか分からないなら、行ける限りの上を狙った方が良いです。なぜかという、周りの友だちの質が全然違うからです。自分の周りにいる人の平均が今の自分だと思う。頭の良い人と一緒にいたら頭がよくなる。高校もそれがあっている。友だちは変わらないから、みんなが全く勉強しない中で勉強するより、みんなで勉強しようってやる環境が本当に大事だと思います。高校選びの時、パンフレットを見てる人がいますがオススメしません。理由はInstagramと一緒に、どこの高校も良いところしか書かないからです。普通に先輩に会って何が良いのか何が悪いのか、何がどうなのかとか聞いた方が良いです。

勉強は量か質かと聞かれたら、圧倒的に量です。高校受験に質は求めなくて良いです。過去問を何ヶ月前までに解くとか教科書を完璧にするとか時間をかければ正直完成します。質は大学受験で求めて下さい。1番大事なものは、これから少しずつ焦っていくこと。今から部活も終わると、どんどん伸びる人もいれば、どんどん落ちていく人もいます。自分の目指すところを目標としたときに自分は何時間の勉強が必要なのか考えた方が良いです。最後に将来の夢がない人は、自分の手の届く1番良いところでもいいし、そこで落ちぶれるくらいなら少し落としてもいいから自分が3年間ずっと走り続ける高校を選ぶことが1番の高校選びだと思うので頑張ってください。

小祿高校 普通科 2年 大嶺 華さん ・ 上原優奈さん

おおみね はな

うえはら ゆうな



こんにちは。私はスポーツ推薦で小祿に入学しました**大嶺華**です。なぜ小祿高校を選んだかというと、小祿高校は女子バスケット部が強くて、強いだけでなく先輩後輩の仲も良く、部活の雰囲気もメリハリがあって、そんなところがいいなと思って小祿高校にしました。私の所属している女バス以外にも部活動が活発で生徒の約8割が部活か同好会に所属しています。小祿高校は普通コースが7クラスあって、そのうちの1クラスの特別進学クラスが国公立大学に対応できる学力を養成しています。その他に、情報ビジネスコースが1クラス。芸術教養コース1クラスあります。小祿高校は先輩後輩の仲が良く、他の部活の先輩後輩とも関わりがあったりするから、部活も楽しいつながりも広く良い雰囲気です。中学校と違うところは、自転車通学ができる場所・給食がなくて弁当があるところです。弁当を持ってなくてもお昼には購買があるので、みんな授業後に買いに行きます。朝は8時45分に教室に入っていないといけなくて、中学校よりゆっくりです。下校も8時前とかで遅く、ぎりぎりまで部活しています。推薦を考えている人は、自分は点数が良い方はなかったの提出物などを100%にして内申を上げていくと良いと思います。推薦が終わっても、ちゃんと復習して高校に入っても遅れないようにした方が良いでしょう。

私は一般入試で小祿高校に入学した**上原優奈**です。小祿高校を選んだ理由は部活が盛んで文武両道で、入学説明会の時に先輩方がとても楽しそうで先生と生徒の関係も良くて親しみやすい環境だと思ったからです。学校の周りの交通手段や設備も充実しているので色んなところから小祿に来るので、たくさんの人と仲良くなれます。高校では中学校よりも教科が増えます。理科が全部で6教科になります。1年生では世界史、2年生では政治経済という今の日本の政治について勉強したりします。パソコンで掲示物を作る演習やタイピングの練習もあります。自分は中3の夏休みくらいから勉強を始めて、最初は模試も120点くらいしかとれなくて小祿高校に入れるか不安だったけど、苦手な暗記にしぼって、理科の難しい問題を解くよりも暗記物をたくさん覚えて点数をとれるようにしました。一般でも推薦でも実績は大事だから、漢検や英検などの検定は、たくさん受けていた方が良いでしょう。あとボランティア活動なども実績に入るから自分でたくさんすることに挑戦した方が良いでしょう。小祿高校はたくさんの課外講座があるので、公務員になりたい人とかのための公務員模試対策講座やワープロや面接・プレゼンとかの対策もできるので、塾などに行くよりもお金も抑えきれるので、受けやすい講座がたくさんあります。



那覇国際高校生の発表とそれを聞く3年生



小祿高校2年生の発表

那覇国際高校の2人の話しは、学習量の多さや学習に対する姿勢や取り組みなどの変革をリアルに聞いたのはよかったですね。

小祿高校は、部活がさかんで、先輩後輩の仲が良く、楽しい雰囲気がとても伝わりましたね。高校生の先輩方に感謝です!

※次回(最終)は、那覇高校・豊見城高校の先輩のお話を紹介します。

